



第9回古本市を開催しました

平成27年10月3日(土)に第9回古本市を開催しました。朝から良いお天気に恵まれたこの日、たくさんの方にご来場いただきました。お気に入りの1冊は見つかりましたか？ここではみなさんからご提供いただいた本を販売し、34,440円の収益となりました。

今回は、その収益金で『松本清張全集』など全23点を購入し、八女市立図書館へ寄贈しました。ぜひご利用ください。たくさんのご協力、ありがとうございました！

今年もたくさんの情報をお届けしていきます！
どうぞよろしくお祈りします！

あ おけ め で ま す



図書23点を寄贈しました

第10回古本市を開催します！

日時：2月11日(祝・木) 10:00～16:00
※なくなり次第終了

会場：おりなす八女 桜カフェ

当日は八女市立図書館で「絵本だいすき」も開催中です！
こちらにもぜひご来場ください！

寄贈図書を紹介！



『松本清張全集56』

東経139度線 短篇5

「証明」「火神被殺」「巨人の磯」「水の肌」「駆ける男」など18篇の代表的推理小説が一挙収録されています。

※写真のカバーはついていません



としょかん大人塾

八女市役所地域づくり・文化振興課が「市民との協働によるまちづくり」提案事業として募集し、昨年度に引き続き、私たちの事業も採択されました。今年度も、「読書を通じた市民生活向上応援プロジェクト」として、6回の講座を開催します。そのうちの3回目、4回目の講座の様子をお伝えします。

第3回

ひるさがりの朗読会

PART 2



→まずは、声を出すために体操から。発声は、身体をほぐすことが大切だそうです。

9月27日、フリーアナウンサーの高月晶子さんをお迎えして朗読講座を行いました。高月晶子さんには、昨年「ひるさがりの朗読会」で美しい音楽を織り交ぜて『等伯』などの素晴らしい朗読をしていただきました。今年は、さらなる高みを目指して「実践編」ということで、発声のポイントやアクセントの注意点などを教えていただきました。朗読は、伝える側が内容をしっかりと理解していることが重要だということでした。

内容をわかりやすく伝えるためには…

- ①フレーズ(文の区切り)、②アクセント(ことばの高低)、③イントネーション(抑揚)、④プロミネンス(どこを強調するか)、⑤ポーズ(間をどのくらい開けるか)が大切だそうです。



↑姿も声も美しい高月さん

第4回

郷土の文化人

坂本繁二郎・山本健吉を知る



→山本健吉資料室を見学

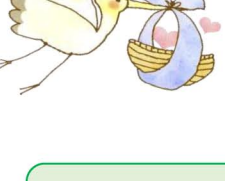


→味わいのある坂本繁二郎旧居

4回目は、郷土にゆかりのある坂本繁二郎と山本健吉についての講座です。11月15日、秋晴れの心地よい日に開催することができました。みなさんは、八女市立図書館本館2階にこの二人の資料室があるをご存知でしょうか？ たくさんの方に知っていただきたいという事で資料室の見学も交え、八女市文化課の中川寿賀子さんにお話ししていただきました。最後は、市内緒玉にある繁二郎の旧居にご案内しました。こちらは、昭和初期に建てられた市営住宅で、ほぼそのままの姿で残されているという意味でも八女の大切な財産の一つであるとのこと。知っているようで知らなかった八女の文化人のことが身近に感じていただけたかと思えます。

おしえて！英くん

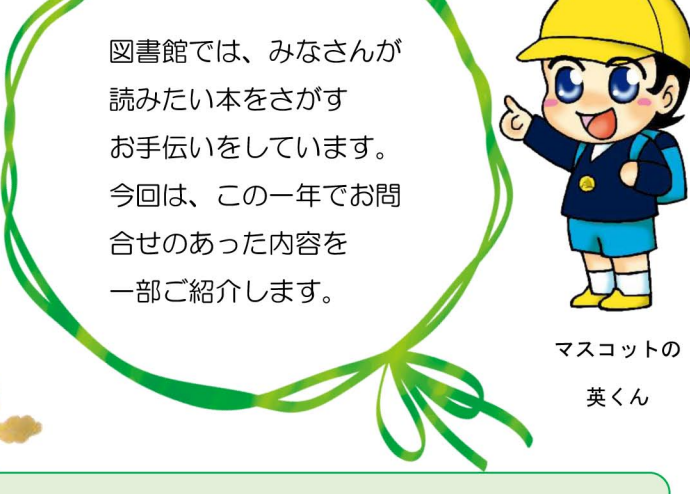
Part 4



スサノオの神話の本は？

みこしの写真が載っている本は？

大人向けのさまざまな本をさがしています。



→マスコットの英くん

昭和頃の八女市立図書館本館周辺の地図がみたい。

付録にフラダンスのDVDがついた本はありますか？

新聞紙を使ったレクリエーション(高齢者向き)の本は？

あなたもお気軽にお声かけください。八女市立図書館では、お問合せに対してご満足いく本を提供できる蔵書を目指しています。



→素敵なインテリアの武雄市図書館

視察研修に行ってきました

八女市立図書館の充実を図るため、まなびっと八媛では、毎年、近隣図書館の視察を行っています。今年、11月11日に活動会員のなかよし文庫さん、ふわふわさん、理事のみなさんが武雄市図書館へ、11月27日には職員が、武雄市図書館と大川市立図書館へ視察に行ってきました。武雄市図書館は話題の図書館で、マスコミに取り上げられていることほかに年間約240回のイベントが行われていることなど、驚きの連続でした。大川市立図書館は、学校図書館やボランティアさんときめ細やかな連携をもたれていて、当館でも見習いたい事が多数ありました。たくさんのためになるお話を伺って、私たちも、より愛される図書館を目指してさらに精進しなくてはならないと、気持ちを新たにしました。

↑大川市立図書館のテーマ図書

八女市内のボランティア紹介

よちよちあんだよ

第8回

毎月第3土曜日の11時…♪八女市立図書館本館の2階から、すてきなオルゴール音楽が流れ出します。

わたしたち、あかちゃんよみかせボランティア「よちよちあんだよ」は、絵本のおよみかせや手遊びをして、あかちゃんと保護者の方たちといっしょに楽しい時間を過ごしています。

「毎月この時間を楽しみにしています」「もっと回数を増やしてほしい」など、うれしい言葉をかけていただくこともあります。乳幼児期にたくさんのお絵本に出会うことが子どもの成長にいかにも大切なことかと、わたしたちボランティアメンバーは実感しています。これからもかわいいあかちゃんたちに癒されながら、楽しく活動していきます。

あかちゃんと保護者の方々がすてきな本に出会えるようお手伝いをしていきたいです



図書館員の おすすめ

BOOK

『季節はうつる、メリーゴーランドのように』

岡崎 琢磨 / 著

KADOKAWA (913 オカ)



奇妙な出来事に説明をつける「キセツ」という遊び。夏樹と冬子は高校時代、「キセツ」を同じ趣味とする、唯一無二の存在だった。しかしそれは、夏樹の秘めた恋心の上に成り立つ、微妙な関係でもあった。決して解けない恋愛の謎。夏樹の想いの行方は…？

『まちの本屋』

田口 幹人 / 著

ポプラ社 (024 夕)



ネット書店の台頭、市場の縮小、「書店空白地域」の急増…。この時代における、リアルな本屋の存在価値とは？「まち本屋」の未来のために、今、私たちができることはなにか。読み終わった後に本屋に行きたくなる作品。